

東北大学電気通信研究所共同プロジェクト研究 H21/B07  
『ナノ・バイオの融合による新規バイオデバイスに関する研究』  
東北大学電気通信研究所共同プロジェクト研究 H23/A09  
『フレキシブル・プリンタブル製造有機ヘテロ接合太陽電池の研究』  
第 56 回ナノ・スピン工学研究会

---

『バイオ・電子デバイス応用に向けた酸化物表面』

日時：平成 24 年 2 月 29 日 (水)

場所：東北大学電気通信研究所ナノ・スピン実験施設  
4 階 A401 号室

プログラム

挨拶

13:30-13:35 プロジェクト研究代表者 荻野 俊郎(横浜国立大学・教授)

13:35-14:25 【通研講演会】

「アノード酸化にもとづく規則ナノ構造の形成と機能的応用」

益田 秀樹 (首都大都市環境/KAST・教授)

14:25-15:15 「金属酸化物の光触媒への応用」

立間 徹 (東京大学・教授)

15:15-15:40 「酸化物単結晶表面の構造制御とバイオ応用」

荻野 俊郎 (横浜国立大学・教授)

15:40-16:00 休憩 (20 分)

16:00-16:25 「陽極酸化 TiO<sub>2</sub> ナノチューブ膜のガスセンサへの応用」

木村 康男 (東北大学・准教授)

16:25-16:50 「原料ガス励起原子層堆積法を用いたゲート酸化膜の室温形成」

廣瀬 文彦 (山形大学・教授)

16:50-17:15 「有機太陽電池の光伝搬解析と反射防止構造の設計」

久保田 繁、廣瀬 文彦 (山形大学・准教授)

懇親会 18:30 ~

問い合わせ先：

庭野研究室 准教授 木村康男 (内線 5502)